

こんにちは
3月号

酒井まさえ



2026年3月11日 連絡先日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2320) 区議会 3312-2610
sakaimasae.0507@gmail.com 090-9325-5676

です

杉並区 2026 年度予算案 補聴器購入費助成の拡充・介護職員への独自補助計上

高齢者の補聴器購入費助成	2025年度まで	2026年以降
住民税非課税世帯	48,300 円	72,450 円
住民税課税世帯	24,200 円	36,230 円
助成回数	1 人につき 1 回	助成利用後 5 年後の再申請可能

杉並区の2026年度予算案が示されました。高齢者の補聴器購入費助成の拡充や、介護職員への区独自の補助などが求めてきた事業が盛り込まれました。

補聴器購入費助成 助成額の増額、再申請も可能に

補聴器購入費助成拡充の費用として、4278万5千円が計上されました。助成限度額の引き上げとともに、助成利用から5年後の再申請も可能とします。

区は、これまでの助成実績や今年度実施した補聴器販売店へのアンケート調査の結果を踏まえ、さらなる支援の拡充を図ると説明しています。

昨年の第3回定例会の一般質問で私は、助成額の引き上げなどを求めました。

区は「他区と比較して低い水準であり、見直しの検討ポイント」と答弁し、増額の方針を示していました。

また、再申請を可能にしたことも重要な前進です。



来年度予算方針の説明をする区



「ケアする人をケアする」施策も前進

全国的に介護人材不足が深刻化しています。

その背景には、全産業と比べて介護分野の給与が低い現状があり、現在月平均で8万円以上の差があります。

こうした状況を踏まえ、区は今年度「介護サービス事業所等実態調査」を実施。その結果を受けて、区独自に「介護職員・介護支援専門員居住支援補助」を開始します。都の行っている介護職員・介護支援専門員への居住支援に対して、区独自に1万円の加算をの対象者すべてに2万円の補助をします。

合わせて、介護人材採用活動に必要な経費を、1事業所あたり上限20万円を補助し人材の確保の支援を行います。

この介護事業所・介護職員への支援も私が昨年の第3回定例会の一般質問で取り上げた内容でした。

岸本区長が掲げる「ケアする人をケアする」施策の具体化として重要

です。新年度予算案は、3月6日から始まった予算特別委員会で集中審議を行っています。

2026年当初予算案(概要)主な取組

○健康・共生社会

- ・平和への思いを世代を超えてつなぐための取組など (73万円)
- ・介護事業者・介護職員等にたいする支援 (区独自の取組) (5億4742万円) 等

○子ども・学び

- ・区立児童相談所の開設
- ・学童クラブ待機児童対策 (3億4649万円)
- ・部活動の地域展開 (3684万円) 等

○防災・みどい・地域

- ・震災救援所等の備品の充実 (1億8545万円)
- ・保護樹林の支援拡充 (455万円) 等

○行政サービスの質を向上させるための取組

- ・デジタル区役所の推進 (509万円)
- ・キャッシュレス決済の拡充 (276万円) 等

全体については、QRコードから区政経営報告書をご覧ください。



家賃助成の対象拡大、高齢者住宅の拡充を求める

我が党の議員は住宅施策の質問もしました。

家賃助成の対象拡大

(質問)今年度から、区営住宅に落選したひとり親・多子世帯を対象に家賃助成が始まったことは貴重な前進。しかし、障害のある方や高齢者など、家賃負担に苦しむ世帯は他にも多い。対象拡大の検討を求める。

(答弁)対象拡大については、現行制度における効果を見極めながら、公平性や持続可能性も踏まえ、慎重に検討していく。

セーフティネット専用住宅の戸数増加

(質問)セーフティネット専用住宅は、必要とされている規模からみれば、まだ足りない。制度を活用してもらう大家さんの拡大に向け、取り組みの強化を求める。

(答弁)セーフティネット専用住宅を増やしていくためには、大家さんの不安を取り除くことが何より重要。不動産関

係団体の協力を得ながら、大家さんと個別に協議する場をつくり、感じている不安を取り除くための手だてを検討し、登録の増加につなげていきたい。

みどりの里の増設

(質問)高齢者住宅「みどりの里」は、単身24戸に238人(9.9倍)、2人世帯11戸に53世帯(4.8倍)が応募するなど不足は明らか。みどりの里の戸数増加、小規模アパートの借り上げなど、多様な手法による高齢者住宅の確保を求める。

(答弁)みどりの里の新設は、用地の確保や建設費などの課題があり難しい。低廉な家賃で入居できるセーフティネット専用住宅の新規登録戸数を増やすための取り組みを進めていきたい。



せきょうの
成田東西支部
このは食堂
おいし〜♪
←

2025年度も
都市環境委員と
して頑張りました!
→



酒井まさえ地域後援会

みんなのつどい 2026・4・18(土)

南部

4月18日(土)

午前10時~12時

永福和泉地域区民センター

第1集会室

和泉3-8-18

北部

4月18日(土)

午後2時~4時

松/木2丁目第3アパート

集会室(松/木ふれあいの

家横)松/木2-14-3



連絡先 酒井まさえ 090-9325-5676

健康の話 3月の健康

3月は、寒暖差による「春バテ」のような症状が出る場合があります。激しい気温差(7度以上)により自律神経の乱れ、症状がでたりします。

3月の寒暖差「春バテ」対策

症状 身体のだるさ、疲れやすい、やる気が出ない、

眠れない、下痢、頭痛など。

対策 脱ぎ着しやすい服装に、ぬるめのお湯の入浴

朝晩の冷え込みに注意。

メンタルヘルス(3月病)

症状 年度末の緊張感、環境変化からのストレスを感じる。

対策 軽い運動をする。ゆっくりお風呂につかる。

気分転換に散歩。友人と話す。

3月におすすめの食材

冬に弱った体を整え、栄養が豊富な「春キャベツ」

「かぶ」はいかがでしょうか。

「春キャベツ」は、胃腸の動きを助ける「ビタミン

U(キャベジン)」が含まれストレス性の胃腸不調

に最適。

「かぶ」は、消化酵素(ジアスターゼ)が豊富で胃に優しいです。

お困りのことがありましたら
酒井にご連絡ください

